

NEWS

ガソリン混入灯油！？- 西日本防災システム

2013 12 26

11月26日和歌山県橋本市のガソリンスタンドで、誤ってガソリンが混入した灯油約610リットルを21人に販売したと、市消防本部が発表したそうです。火災の危険があるとして使用しないよう呼びかけているようです。

ガソリン混入灯油を販売したのはセルフ、ガソリンスタンドのコスモ小浦石油・セルフ橋本あやの台で、市本部などによりますと、26日午後4時10分頃、タンクローリーがガソリン用と灯油用のタンクを間違えて補充したようです。混入量はそれぞれ2,000リットルにのぼり、このうちガソリンが混入した灯油は、同6時半ごろまでの間に21人に販売されたようです。

ガソリンを給油した客から「車が突然停止した」との指摘があり、混入が判明したようです。同本部や和歌山県警橋本署は購入者の特定を急いでいます。

市消防本部は「ガソリン入りの灯油を使用すると、石油ストーブの炎が異常に大きくなったり、石油ファンヒーターから炎が噴き出したりするなど火災につながる危険がある」として、広報車などで注意を呼びかけているそうです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

